

行/事/予/定

7~9月

- 7月20日(木) 大歳小学校・鴻南中学校1学期終業式
- 7月21日(金) おおとし防災の日
- 7月22日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 7月22日(土) 地撮り山口大歳【大歳地区内】
- 7月30日(日) ふしの川水系クリーンキャンペーン
- 8月 5日(土) 第31回おおとし夏まつり【大歳地域交流センター】
- 8月10日(木) やまぐち車座トーク21【大歳地域交流センター】
- 8月12日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月19日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月26日(土) 第8回大歳地区三世代交流グラウンドゴルフ大会【大歳小学校】
- 8月26日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 9月 9日(土) 鴻南中学校体育祭【鴻南中学校】
- 9月10日(日) 第11回山口市民体育大会【維新公園陸上競技場ほか】
- 9月16日(土) 大歳地区敬老祝賀会【県総合保健会館】
- 9月30日(土) 大歳小学校運動会【大歳小学校】



ホームページも見てね!

大歳自治振興会 検索

招 招 と む か わ の 路 Information

■ やまぐち車座トークを開催します

「やまぐち車座トーク21(移動市長室)」が8月10日(木)、19時から大歳地域交流センターで開催されます。渡辺純忠市長と自由に意見交換ができる場ですので、皆さんの積極的なご参加をお願いします。地域の課題やまちづくりについての皆さんの声を市政に届けましょう。

■ 今年もおおとし草刈隊が活躍しました

6月18日に大歳の一斉草刈りが行われ、馬庭・河内から下矢原まで草刈り隊が河川沿いの草を刈って廻りました。馬庭河内では自治会からも40人が参加して一緒に草刈り・清掃を行いました。



■ 第31回おおとし夏まつりの開催

大歳の夏を彩る「おおとし夏まつり」が8月5日に開催されます。31回目となる今年は、大歳小学校から1日子ども実行委員長を選出し、餅まきなどを運営してもらう予定です。新企画もありますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

■ チャレンジデー2017の結果

チャレンジデー2017が5月31日に開催され、山口市は東京都狛江市に勝利しました。多くの方にご参加いただきありがとうございます。これをきっかけに運動を習慣化しましょう。

チャレンジデー最終結果			
山口市	参加者数	130,736人	参加率66.4%
狛江市	参加者数	39,531人	参加率48.9%

**編集後記**  
また洪水の季節を迎えました。宅地化の進行で、田んぼがみるみる減りゆくのと逆比例して洪水への心配が膨らんでいきます。自治体が田んぼに貯水作業を依頼しているわけではありませんから、貯水能力の激減は純粋な経済活動の結果にすぎないとわかっていても、どこかにやりきれなさを感じる矛盾。「洪水よ!さらば」と言える智恵の結集が待ち望まれます。(武波)

■ 第8回三世代交流グラウンドゴルフ大会 出場者募集

日 時: 8月26日(土) 午前9時~11時(集合時間8時30分)

場 所: 大歳小学校グラウンド

参加対象: 小学校4年以上  
どなたでも参加できます

申込方法: 8月10日までに氏名、自治会名、年齢、連絡先を大歳自治振興会(☎920-1700)へ連絡してください

- ①当日は戸外で運動できる服装で参加し、帽子、タオル、飲み物を持参ください
- ②道具のない方は主催者で用意します
- ③ルールは簡単ですので、当日老人クラブの方が教えてくれます。

多くの方の参加をお待ちしています。

まちづくり おおとし かわら版 2017.7 Vol.46

防災特集 火事のない大歳ずっとず~っと!

火事と災害に備える 大歳消防団

大歳消防団は定員40名。現在39名でほぼ定員を満たしています。消防団は出動要請を受けて現場に駆けつけ、消防隊の消火の手伝いや救助、鎮火後も残って見守り活動などを行います。7月2日開催の山口消防操練大会に向けて、団員の皆さんが何日も消火訓練に励んでおられました。



陽が暮れても何度も消火訓練をする大歳消防団の皆さん

今回の防災特集は防火対策です。実は大歳では、ここ数年家が燃え落ちるような大きな火災が起きていません。この記録をず~っと伸ばしていきましょう。同時にニュースなどで、火災に気づくのが遅れたり、煙にまかれて気を失うなどして亡くなる例が目につきます。火の用心は防災対策の中でも一番日常生活に密着した行為ですし、どうすべきかも大半の方が身に付けていることです。念には念をいれて防火対策に努めましょう。

防火クイズ

- 火災原因の第1位は放火、第2位はたばこです。では3番目に多いのは何でしょう?  
ア たき火 イ コンロ ウ 漏電
- 消防車が水を汲み上げる時に活躍する消火栓。では消火栓から放水できる時間はどれくらいでしょう?  
ア 3時間 イ 1時間 ウ 40分
- 平成23年に義務化された火災警報器の設置。大歳ではどの程度設置されていると思いますか?  
ア 95% イ 50% ウ 10%

解説

- コンロの火災はちょっと目を離した隙に起こっています。調理中は絶対その場を離れないことが大事です。離れるときは火を消す、回りに物を置かない、防災製の着衣(エプロンなど)にするなど気遣いも必要。万が一、火が入った時には、あわてずナベにふたをし、濡れたタオルなどでナベを塞ぎ空気を遮断して消火(窒息消火)します。
- 大火事になると消しにくくなる原因の1つです。火事には素早く119番通報を。
- 意外と少ない設置数が気になります。是非早急な設置で100%にしましょう。

とろろ とし 景樹

# 自治会レポート

勝井 編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日頃の悩み、抱負を自治会長さん達にじっくりと話を聞いていただくコーナーです。

今回は勝井自治会の有吉壽男さんです。自治会長は今年で2年目になります。

勝井自治会の今の戸数は147、会社が22社で、自治会員は全部で169になります。県道204号線を挟んだ自治会であり、北には総合支援学校など、南にはJR山口線大歳駅があり、人や車の通行量が多い地区です。県道204号沿いにはバス停付近にイチヨウなどの植木があり、見通し



勝井北部にある「天神堤」

が悪く大変危険です。

またこの地区は北部に金山があり、その麓に昔から、農業用の堤「天神堤」があり、防災上、管理がたいへん重要です。そうした中、有吉自治会長は「安心して暮らせる勝井にしたい」と言われます。そうした思いからこの5月に防災管理者の「防災講習会」を行い、また秋には、「防災ウォーク」を予定されています。地区の危険な場所をみんなでチェックして歩き、共通認識にしたいとのことでした。



交流列車おおとしの前で 勝井自治会長 有吉 壽男さん

## 表彰 大歳地区老人クラブ連合会 5%以上の会員増で表彰



大歳には5つの老人クラブがありますが、この内、矢原第1・矢原第2・旭の3つの福寿会が5%以上の会員拡大を達成し、大歳全体でも5%以上となり、それぞれ表彰されました。

60代は現役世代の昨今、老人クラブは平均年齢80才を越えています。様々な趣味のサークルが存在する中で、老人クラブに入らなくてもという人が多いのも事実です。おまけに、地域貢献活動を期待されることも多く、老人会に入ると忙しくなるばかりと敬遠されることも。

しかし、「しゃべって、動いて、世話して、感謝されて、おまけに健康になるんじゃない」と言う坪郷前会長の言葉はなかなか重みがあります。地域から頼りにされる活動だからこそ、230名弱の会員が元気に活動しているのです。



## 大歳小学校 5年生120名 田植えを体験

6月15日、大歳小の5年生が田植えの体験学習を行いました。

「ウー、ヒャー」と大半の子にとって初めての泥田への踏み込み、ヌルヌル、ズブリとぬめり込む独特の泥の感触に慣れたところで、稲を植えていきます。子どもの足跡でこぼこになった田んぼへ苗を植え込む作業はなかなか大変だったようです。かつては学校も農繁期休暇となり、子どもも貴重な労働力として、朝から晩まで目の回るような忙しさだったことを考えると隔世の感がします。

植えたのは晩稲（おくて）の「ひのひかり」。食味の関係で大半が早稲（わせ）の「こしひかり」や「ひとめぼれ」に変わった中で、伝統的な田植えの時期を守った取り組みでした。



「がんばる人 in OHTOSHI」のコーナーでは、地域でイキイキと活躍している人達をご紹介します！

今回は名前もよく似たおおとし見守り隊の黒川京子さん・藤川京子さんです。

黒川京子さんは幸町の変則四つ角の道路で交通指導を。「自動車が多く、通学路なのに信号がないせいか、はみだす自動車も多く油断はできません。それでも「ありがとう」と声をかけてくれる児童もいて励みになります」とのことでした。



藤川 京子さん



黒川 京子さん

藤川京子さんは周布町の変則四つ角で交通指導を。「見守り隊の制服を見て、速度をおとす自動車が多く助かります。それでも飛び出す児童もいて大変です。ただ新しい東山通り下矢原線の開通で、周布町の旧道を通る子どもが激減したため、立哨位置の変更も検討しては？」とのことでした。

## 大歳歴史の散歩道 Vol.25

### 周布政之助 その6 政之助最後のたたかい

政之助が自決したのは元治元年9月26日早朝でした。すでに8月末に政之助の自決の決意を知った吉富簡一が政之助の息子達を呼び寄せ、監視を強めた直後でした。前日井上聞多が大会議で保守派を罵倒・論破したため、怒った保守派に襲われ大怪我を負い、所部太郎の手術によって一命を取り留めた翌朝のことでした。しかし、今もなぜ政之助が自決したのかははっきりしません。禁門の変の原因となる京都進発論に断固反対していた政之助は、高杉晋作の入っている野山獄に押し入ったことを理由に50日の謹慎を申しつけられ、彼の謹慎中に京都進発、禁門の変が起こり、朝敵となった長州に幕府が軍を送るという大激動が起こっていたのです。

謹慎が解けた政之助が全力を尽くしたのが幕府との折衝役を誰にするかという問題でした。兼重慎一などとも相談して彼が白羽の矢を立てたのが岩国藩主・吉川監物でした。監物はまじめで粘り強い「守成の人」（吉富へ語った政之助の評価）であること、岩国藩には毛利藩から独立した大名になりたいという宿望があり、これを幕府につけ込まれるおそれを封じる意味もありました。正使の清水清太郎と共に岩国に出向き監物の説得に成功します。

しかし、事態は政之助が予想したより、はるかに深刻でした。全国で攘夷派への弾圧が進み、攘

夷を藩とする長州の孤立は顕著で、仲介の劣をとろうとする藩は現れず、監物が頼った広島藩にも仲介を断られました。

こうして幕府軍が迫るのに、長州には打つ手が無い状況が生まれたのです。こうなれば、どの程度の謝罪で許しを乞うかを真剣に考えざるをえません。京都進発軍を率いた家老や参謀だけでなく、政策決定の中枢にいた者が責任をとるべきと考え、長州を孤立させた一連の政策の出発点が文久2年の攘夷を藩としたことにあり、その推進者たる自分に責任があると政之助は考えたのではないかと考えられます。

現実には幕府の長州処分は寛大なものですが、それは長州側からの働きかけによるのではなく、幕府軍の中心となった西郷隆盛に代表される薩摩藩の政策変更によるものでした。自決した時点で政之助はそうした変化を知るはずもなかったのですが、明治になって、長州には当時すでに幕府に対抗する力と論理が正義派という形で存在したとする歴史論がつくられ、正義派と俗論派の対抗で歴史を読み直す作業が進められます。しかし、この論理では政之助の自決は俗論派の台頭に憤慨しての憤死に貶められてしまいます。政治の中枢にある者が失敗の責任を負うべきという村田清風の教えを守った政之助の決断が正しく評価されるべき時ではないでしょうか。